

## 巻頭言

# 労協における民主的組織運営の 難しさについて考える

松本 典子 (駒澤大学教授/協同総研常任理事)

私が参加させていただいた分散会は、はんしんワーカーズコープ代表理事の馬場義竜さんの素晴らしいコーディネートにより、参加者の声があまくつながりあう形ですすめられ、さまざまな気付きを得られました。馬場さんからは、議論の開始にあたって、ワーカーズコープが各所から期待される今、働く仲間が大切にしている価値は何か、現場でどのような運営が行われているのかを2つの事業所から学ぶことで、分散会参加者とよい仕事・よい職場・よい暮らしとは何かを深める場にしようというご提案がありました。

## 各現場の工夫や課題、そして肯定することの大切さ

まず、狭山地域福祉事業所所長の朝賀さんから、自粛中の過ごし方のホームページでの発信、利用している子どもたちへの持ち帰り工作キットの配布、地域を巡回して親子の様子を見るなど、水野児童館や子育てプレイス水野での事業の工夫を教えてくださいました。これに加えて、分散会参加者のみなさんが最も関心をもった話題が、朝賀さんたちの働き方をめぐる工夫でした。第1に、組合員の「時間」をお互い気にかけてきた結果、常勤の時短勤務を実現したり、子どもの

部活がある人は土日に休めるようにするなど、組合員全員にとって働きやすい職場であり居場所がつくられてきたことです。第2に、意見の合わない仲間が排除されてしまうといった過去の経験から、現在は組合員同士で声をかけあい、助け合い、補うことを大切にしている、実際に使用しているグループLINEの日常的なやりとりを伝えていただきました。一方、この1年間、組合員の仲の良さが個人間の親密さにつながり、気づいたときには個人間のトラブルが仕事のトラブルになるといった事態にも見舞われたそうです。一度失われた人間関係の修復は難しく、組合員同士のつながりが深い職場だからこそその影響が甚大になるという組織運営の難しさもわかりました。

続いて、企業組合労協ながの南信事業本部員的那須さんから、清掃技能検定大会を通じた事業本部と養護学校の社会連帯活動のお話を中心にお伺いしました。那須さんたちは、養護学校と社会をつなげ、障害者の自己肯定感を高めるための機会に積極的に携わってきました。しかし、清掃技能検定大会の活動は社会連帯活動の1つであって本体の事業に結びつくまでには至っていないことから、地域とのよい仕事の事例に関してはまだこ

れからだと思うとの課題があげられました。あげられた課題に対して、コーディネータの馬場さんからは、事業に直接結びつかないかもしれないが清掃技能検定大会の活動を通じて養護学校や地域との関係性を深めてきたことは素晴らしいということ、分散会参加者からももっと自分たちを評価してもよいのではないか、資本主義的な常識ではかるのではなく自分たちの物差しで測ることが大事、目の前の1つひとつを解決することが大切といった那須さんたちの活動を肯定し励ます意見が寄せられました。

### 民主的組織運営の難しさ

今回2つの現場のお話を伺い分散会参加者とも意見交換をするなかで、労協における民主的組織運営の難しさを肌で感じることができました。協同組合は「共同で所有し民主的に管理する」組織であり、労協は労協法にあるように「それぞれの意見を反映して事業が行われ」る協同組合ですが、私自身、今回の分散会を通じて、これまで労協の「民主的」の意味について深く分析していないことに気が付きました。分散会参加者からは、実際の労協の組織運営では、よくしゃべる人の意見が通りやすいこと、存在の強い人の意見に吸い込まれそうになることがあること、出勤頻度に差がある場合に少ない人は遠慮しがちであること、言葉に出せない人は報告書に書いてもらったり個人的に所長に伝えるようなケースもあるがもしかしたら1つも伝えられていな

い人がいるかもしれないという懸念があること、などを教えていただきました。出勤が少ないからこそ現場の課題に客観的に気付くこともありますし、意見を言わない・言えない人の中には思いもよらない貴重な意見が眠っているかもしれません。発言をしにくい人や少数派の意見をうまく組織運営に反映させる環境づくりをどのようにしていけばよいか協同労働では肝になりますので、私たちはゆっくりじっくりと「民主的」の意味を考えなければなりません。また、今回の分散会のようにお互いの活動を仲間が認め合い褒め合うことを積極的に取り入れていく必要があるそうです。さらに、地域や働いている人のために考えて行動する人を肯定できる物差しが、各事業所の組織運営にとって必要になりそうです。

### 今後のよい仕事研究交流集会に向けて

共に働くということは非常に難しいことですが、協同労働を可能にさせることに労協のレーゾンデートルがあることを再認識した分散会になりました。「民主的」の意味について今後深い研究が必要になると思いますが、毎年分散会の度に各事業所が用意するレポートを組合員全員で書いてみて、よい仕事を組合員同士が肯定し合う機会につなげることもその手段の1つになると感じました。発言しやすい場をつくるために、組合員のモデレーター力、ファシリテーター力を高めていくことも今後ますます重要になるでしょう。